
友達代行業社セントポーリア

キオナ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

友達代行業社セントポーリア

【Nコード】

N9392Y

【作者名】

キオナ

【あらすじ】

高級住宅街が溢れる街の一角に聳え立つビルの6階にあり今日も依頼人を待ち続ける友達代行業社セントポーリア。

仕事の内容はゆりかごから墓場まで仲良くなれるお友達を派遣した

り結婚式・合コンの数合わせやゲームの対戦相手etc…

かみおつゆっひ

アルバイトから社員登用され二年の神応友陽は無理難題な依頼にも

屈せずやり手の女社長やベテラン社員達と共に奮闘する。

そんなある日、友陽は新入社員の教育担当を任されるがその社員は

…

高級住宅街が溢れる街の一角に聳え立つビル。

男はそんな見慣れた風景を目を細めながら見上げて深呼吸をし、中へ入るなりいつも通りエレベーターの を押し6Fのボタンを選んだ。

エレベーターは途中彼以外誰も乗らず6Fまで上昇し軽快な機械音が鳴ったと同時に扉は開かれた。

エレベーターを降りた先には自動ドアがある一本道だけで、右を見ても左も見ても真っ白い壁しか無い狭い通路になっている。

無論それを理解した上で男は通路を進んで行くと目の前に“友達代行業社セントポーリア（株）”と書かれた標識が掲げられていた。

友達代行業——それは運転・電話・場所取り・付き添い・恋人・出席代行等々、客のニーズに合わせた代行者を派遣する企業である。エージェント

今この会社の入口の前に立っている男は確かに冴えない顔付きで友達がいなさそうではあるが、実際はその逆——客では無く代行者の方なので全く問題は無い。かみおゆうひ

彼の名前は神応友陽、平凡な高校卒業後に本来アルバイトを募集していないセントポーリアに特例措置で1年間働きその功績を認められて社員登用された経歴を持っている。

所で何故友陽が自動ドアを通らずに標識を見つめて立ち尽くしているかと言うと、今日でセントポーリアで働き始めてから丁度2年になりこれまでの体験を走馬灯の如く思い出して感動に浸っているからだ。

だが、社会人はそんな気分でもいられない。

1人の老人が新聞紙を丸めて友陽の頭を軽く叩き、彼を現実に戻した。

老人の名前は山師宗十郎、社員47人のセントポーリアで最年長のベテラン代行で御意見番である。エージェント

彼は入社して間もない頃の右も左も分からない友陽の教育担当を請け負っており、現在の優秀な代行者^{エージェント}としての友陽が活躍しているのは彼のお陰と言われている。

「友陽：お前さんがそんな所に立ってたらお客さんが帰ってしまうじゃろ？」

「いやあ、なんかこの2年間色々あったなあなんて：それもこれも山さんが俺の教育担当になってくれたからですかね？チラッ」

「おお、そうじゃ思い出した！今日から新入社員が入って来るんじゃないよ。それで友陽、お前さんにそいつの教育担当を任せるって社長さんが意気込んでおったぞ？」

「ええー面倒く——兎に角、入りますか。」

自動ドアを抜けるとそこに広がるのはコンピューターや書類と睨み合う社員達。

友陽と山師はその奥にある社長室の扉をノックするが返事が返って来ないので恐る恐る扉を開くとソファで30代半ばの女性が鼾をかきながら足を出してだらさなく眠っていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9392y/>

友達代行業社セントポーリア

2011年11月28日00時50分発行